

大甲第九七號

九八九九、一〇、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

起 昭和三十六年三月十五日

閣議 昭和三十六年三月十八日 施行

昭和三十六年三月十八日 指令

內閣總理大臣 變

內閣書記官長

內閣書記官

內閣書記官

外務大臣

變

陸軍大臣

文部大臣

變

遞信大臣

變

厚生大臣

變

內務大臣

變

海軍大臣

農林大臣

鐵道大臣

變

變

大藏大臣

變

司法大臣

變

商工大臣

變

拓務大臣

變

一金千八百八拾圓

(厚生省所管)

勞働者災害扶助責任保險費、事務費

諸

以上勞働者災害扶助責任保險特別會計歲出節約額復活ノ件

一金貳百圓

(厚生省所管)

船員保險事業費、事務費

以上船員保險特別會計歲出節約額復活ノ件

一金貳萬貳千五百七拾四圓

(厚生省所管)

健康保險事業費、事務費

一金參千四百九拾圓

(同)

健康保險事業費、保險施設費

以上健康保險特別會計歲出節約額
復活ノ件

一金參千六百圓

(厚生省所管)

職員健康保險事業費、事務費

以上職員健康保險特別會計歲出節

約額復活ノ件

右ハ孰レモ不得已費途ト被認ニ付請議、
通閣議決定相成然ルバシ

指令案

厚生省所管勞働者災害扶助責任保險費事

務費勞働者災害扶助責任保險特別會計歲
出節約額復活、件請議、通

厚生省所管船員保險事業費、事務費船員
保險特別會計歲出節約額復活、件請議、通
厚生省所管健康保險事業費、事務費外一件
健康保險特別會計歲出節約額復活、件
請議、通

厚生省所管職員健康保險事業費、事務費
職員健康保險特別會計歲出節約額復活
、件請議、通

被甲第五〇號

一金千八百八拾圓

勞働者災害扶助責任保險費、事務費

昭和十五年勅令第五百二十五號ニ依ル臨時家族手當支給ニ要スル經費支辨ノ爲

右厚生大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十五年度厚生省所管勞働者災害扶助責任保險特別會計歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年三月十四日

大藏大臣 河田



內閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度

大甲 九七

大藏省

16.3.15
倉庫

大甲第五一號

一金貳百圓

船員保險事業費、事務費

昭和十五年勅令第五百二十五號ニ依ル臨時家族手當支給ニ要スル經費支辨ノ爲

右厚生大臣ヨリ別紙ノ通歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十五年度厚生省所管船員保險特別會計歳出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年三月十四日

大藏大臣 河田

内閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度



大藏省

16.3.15
庶務

大甲九八

大甲第五二號

一金貳萬貳千五百七拾四圓

健康保險事業費、事務費

一金參千四百九拾圓

健康保險事業費、保險施設費

昭和十五年勅令第五百二十五號ニ依ル臨時家族手當支給ニ要スル經費支辨ノ爲

右厚生大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十五年度厚生省所管健康保險特別會計歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年三月十四日

大藏大臣 河田

內閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度



大甲 九九

大藏省

16.3.1
務

大甲第五三號

一金參千六百圓

職員健康保險事業費、事務費

昭和十五年勅令第五百二十五號ニ依ル臨時家族手當支給ニ要スル經費支辨ノ爲

右厚生大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十五年度厚生省所管職員健康保險特別會計歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年三月十四日

大藏大臣 河田

内閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度



大藏省

16.3.15
務 長

大甲一〇〇

大甲第一二七號
令一ニハラヘス

案起

昭和十六年三月十八日

閣議決定

昭和十六年三月十八日施行

昭和十七年三月十八日

內閣總理大臣



內閣書記官長

內閣書記官



外務大臣



陸軍大臣

文部大臣



遞信大臣



厚生大臣



內務大臣

海軍大臣

農林大臣



鐵道大臣



農商務大臣

大藏大臣



司法大臣

商工大臣



拓務大臣



一金壹萬五千圓

(大藏省所管)

補助費 戰時物資活用協會補助

一金貳拾五萬貳千圓

(文部省所管)

大學及學校圖書館臨時支出金
帝國大學支出金

一金五萬圓

(同)

大學及學校圖書館臨時支出金
官立大學支出金

右歲出節約額復活ノ件ハ孰シモ不得已
費途ト被認ニ付請議ノ通閣議決定相
成然ルベシ

指令案

大藏省所管補助費戰時物資活用協會補助歲出節約額復活ノ件請議ノ通
文部省所管大學及學校圖書館臨時支出金帝國大學支出金外一件歲出節約額復活ノ件請議ノ通

內閣

大甲第六二四號

一金壹萬五千圓

補助費戰時物資活用協會補助

戰時物資活用協會ニ於テ事業遂行上豫算ニ不足ヲ生ゼシニ依リ
之カ補助ニ要スル經費支辨ノ爲

右歲出節約額復活ノ儀不得已モノト存候ニ付前記金額昭和十五年度
大藏省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年三月二十七日

大藏大臣 河田

內閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿



追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

大甲一三七

大藏省

16.3.28
務 廢

大甲一三八

一金貳拾五萬貳千圓
一金五萬圓

大學及學校圖書館臨時支出金
帝國大學支出金
大學及學校圖書館臨時支出金
官立大學支出金

帝國大學特別會計及官立大學特別會計ニ於テ翌年度ニ繰越使用
ヲ要スル經費支辨ノ爲

右文部大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候
ニ付前記金額昭和十五年度文部省所管一般會計歲出節約額中ヨリ復
活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年三月二十七日

大藏大臣 河田

內閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度



大藏省

16.3.28
務 庶

大甲一三八

大甲第一三〇號

案起

昭和十六年三月二十八日

閣議決定

昭和十六年三月二十八日施行

昭和十六年三月二十八日指令

內閣總理大臣



內閣書記官長

內閣書記官



外務大臣



陸軍大臣

文部大臣



遞信大臣



厚生大臣



內務大臣

海軍大臣

農林大臣



鐵道大臣



農商務大臣



大藏大臣



司法大臣

商工大臣



拓務大臣



一金參萬圓

(文部省所管)

九州帝國大學特別資金支出

右帝國大學特別會計資金部歲出
節約額復活ノ件

一金七萬圓

(文部省所管)

特別資金支出 歳入臨時部繰入

右官立大學特別會計資金部歳出節約額復活ノ件

右ハ孰レモ不得已費途ト被認ニ付請議
ノ通閣議決定相成然ルベシ

指令案

文部省所管九州帝國大學特別資金支出

外一件帝國大學及官立大學各特別會計資金
部歲出節約額復活，件請議，通

內閣

秘第 六三 號

一金參萬圓

九州帝國大學

特別資金支出

一金七萬圓

特別資金支出

歲入臨時部繰入

帝國大學特別會計九州帝國大學理學部創設費及官立大學特別會計神戶商業大學豫科建物新營費ニ於テ各翌年度ニ繰越使用ヲ要スル經費支辨ノ爲

右文部大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十五年度文部省所管帝國大學及官立大學各特別會計資金部歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス
昭和十六年三月二十七日

大藏大臣 河田

內閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度



大藏省

16. 3. 28

大甲第一三一號

案起

昭和十六年三月二十八日

閣議決定

昭和十六年三月二十八日

施行

昭

昭和十六年三月二十八日

指令

內閣總理大臣



內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣



陸軍大臣

文部大臣



逓信大臣



厚生大臣



內務大臣

海軍大臣

農林大臣



鐵道大臣



農商務大臣

大藏大臣



司法大臣

商工大臣



拓務大臣



金八拾五萬六千貳百六拾參圓

(農林省所管)

米穀需給調節費 事業費

右米穀需給調節特別會計歲出節約額
復活ノ件ハ不得已費途ト被認ニ付請議
ノ通閣議決定相成然ルベシ

指令案

農林省所管米穀需給調節費事業費
米穀需給調節特別會計歲出節約額復
活ノ件請議ノ通

甲六五

一金八拾五萬六千貳百六拾參圓

米穀需給調節費 事業費

現下ノ米穀事情ニ即應スル爲米穀買入數量增加セシニ依リ之ニ伴
フ運搬ニ要スル經費支辨ノ爲

右農林大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ
付前記金額昭和十五年度農林省所管米穀需給調節特別會計歲出節約額
中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年三月二十七日

大藏大臣 河田



內閣總理大臣公爵 近衛 文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

大藏省

16.3.28
務 庶

濟

大甲第一二九號

案起

昭和十六年三月二十八日

閣議決定

昭和十六年三月二十八日施行

昭和十六年三月二十八日

指令

內閣總理大臣



內閣書記官長



內閣書記官

外務大臣

陸軍大臣

文部大臣

遞信大臣

厚生大臣

內務大臣

海軍大臣

農林大臣

鐵道大臣

農林大臣

大藏大臣

司法大臣

商工大臣

拓務大臣

一、金壹萬圓

(商工省所管)

代用品工業振興及資源回收利用諸費補助費

二〇

右歳出節約額復活ノ件ハ不得已費途ト被
認ニ付請議ノ通閣議決定相成然ルベシ

指令案

商工省所管代用品工業振興及資源回收利
用諸費補助費歳出節約額復活ノ件請
議ノ通

甲 六 一

一金壹萬圓

代用品工業振興及資源回收利用諸費補助費

戰時物資活用協會ニ於テ事業遂行上經費ニ不足ヲ生セシニ依リ
之カ補助ニ要スル經費

右商工大臣ヨリ別紙ノ通り歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存
候ニ付前記金額昭和十五年度商工省所管歳出節約額中ヨリ復活方取
計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年三月二十七日

大藏大臣 河田

内閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也



大藏省

16.3.28

濟

大甲第一三二號

案起

昭和十六年三月二十八日

閣議決定

昭和十六年三月二十八日施行

昭和十六年三月二十八日 指令

內閣總理大臣



內閣書記官長



內閣書記官



外務大臣



陸軍大臣

內務大臣

海軍大臣

大藏大臣



司法大臣

文部大臣



遞信大臣



厚生大臣



農林大臣



鐵道大臣



國務大臣

商工大臣



拓務大臣



一、金貳千六拾六圓

(拓務省所管)

總督府在外研究員費

三一

右朝鮮總督府特別會計歲出節約額復活ノ件ハ不得已費途ト被認ニ付請議、
通閣議決定相成然ルベシ

指令案

拓務省所管總督府在外研究員費朝鮮總督府特別會計歲出節約額復活ノ件請議、通

秘甲第 二六六號

一金貳千六拾六圓

總督府在外研究員費

在外研究員歸朝ニ要スル經費支辨ノ爲

右拓務大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候
ニ付前記金額昭和十五年度拓務省所管朝鮮總督府特別會計歲出節約
額中ヨリ復活方取計度

昭和十六年三月二十七日

大藏大臣 河田

烈

內閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候



大藏省

16.3.28
承 彦

大甲第二九四號
 起案 昭和十七年十月三日
 閣議決定 昭和十六年十月三日施行
 裁可 昭和十六年十月三日
 指合

內閣總理大臣



內閣書記官長



內閣書記官



外務大臣



海軍大臣



商工大臣



厚生大臣



內務大臣



司法大臣



逓信大臣



平沼國務大臣



大藏大臣



文部大臣



鐵道大臣



柳川國務大臣



陸軍大臣



農林大臣



拓務大臣



榮國國務大臣



一金六拾七萬七千圓

內務省所管

一金百廿萬五千圓

農林省所管

一 金六拾 治水事業費 河川費 (農林省所管)

一 金貳百九萬五千圓 (農林省所管)

産業振興費 馬事振興費

一 金七拾壹萬七千七百圓 (同)

産業振興費 水産振興費

右歲出節約額復活ノ件ハ孰レモ不
得已費途ト被認ニ付請議ノ通閣

議決定相成然ルバシ

指令案

内務省所管治水事業費河川費歲出

節約額復活、件請議、通
農林省所管産業振興費馬事振興
費外一件以下同文

內

閣

秘甲 二二八 三

一金六拾七萬七千圓

治水事業費河川費

昭和十六年ノ災害ニ鑑ミ荒川外十二河川ニ付急速本年度工事ヲ完成セシムルニ要スル經費

右内務大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十六年度内務省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月二日

大藏大臣 小倉正



内閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候

大甲 二九四

一金七拾壹萬七千七百圓

産業振興費 水産振興費

現下ノ食糧事情ニ鑑ミ内水面及沿岸ニ於ケル漁獲物ノ増産ヲ圖ル
コト緊要ナルニ依リ適切ナル施設ヲ講スルニ要スル經費支辨ノ爲
一金貳百九萬五千圓
産業振興費 馬事振興費

現下ニ於ケル馬資源保持ノ狀況ニ鑑ミ之ガ調整ヲ圖ルコト急務ナ
ルニ依リ之ニ要スル經費支辨ノ爲

右農林大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ
付前記金額昭和十六年度農林省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲
ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月二日

大藏大臣 小倉 正

内閣總理大臣公爵 近衛 文麿 殿



大藏省

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候

大甲第三〇五號

三〇六、三〇七、三〇八

案起 昭和十六年十月十四日

閣議決定 昭和十六年十月十四日施行

昭和十六年十月十四日

內閣總理大臣



內閣書記官長



內閣書記官



外務大臣



海軍大臣



商工大臣



厚生大臣



內務大臣



司法大臣



遞信大臣



平沼國務大臣

大藏大臣



文部大臣



鐵道大臣



柳川國務大臣



陸軍大臣



農林大臣



拓務大臣



陸海軍大臣



一金七萬參千圓

(內務省所管)

一金外壹萬圓

(同)

一 金十萬 北海道拓殖費 道路費 (同)

一 金拾壹萬圓 (同)

北海道拓殖費 河川費

一 金拾四萬五百圓 (同)

北海道拓殖費 治水費

一 金拾八萬八千參百拾七圓 (同)

補助費 地方費補給

一 金參萬七千九拾六圓 (厚生省所管)

調查諸費 職業適性其他調查諸費

一 金五千七百拾貳圓 (同)

國家總動員諸費國民登錄諸費

一金拾五萬千貳百六拾七圓

(同)

)

勞務動員諸費

一金四萬四千九百五拾七圓

(同)

)

勞働手帳制度實施費

一金壹萬八千七百九拾貳圓

(同)

)

轉廢業對策施設諸費職業轉換

指導施設諸費

右歲出節約額復活ノ件ハ孰レモ不得已

費途ト被認ニ付請議ノ通閣議決定相

成然ルバシ

指令案

内務省所管北海道拓殖費道路費外二件

歳出節約額復活ノ件請議ノ通

内務省所管補助費地方費補給以下同文

厚生省所管調査諸費職業適性其ノ他調査

諸費外四件以下同文

大藏省
甲第 二四二 號

一金七萬參千圓

北海道拓殖費道路費

一金拾壹萬圓

北海道拓殖費河川費

一金拾四萬五百圓

北海道拓殖費治水費

昭和十六年九月ノ災害ニ因リ損害ヲ蒙リタル北海道ノ道路、橋梁、

河岸堤防ニ付急速假施設ヲ爲ス等ニ要スル經費支辨ノ爲

右内務大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ

付前記金額昭和十六年度内務省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲

ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月十三日

大藏大臣 小倉 正 恒

内閣總理大臣公爵 近 衛 文 麿 殿



追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

大甲 三〇五

大藏省

大甲 第三〇六

一金拾八萬八千參百拾七圓

補助費地方費補給

時局ニ鑑ミ燈、輕油ニ付消費規正ヲ實施スルニ要スル經費支辨ノ爲

右内務大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十六年度内務省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月十三日

大藏大臣 小倉 正

内閣總理大臣公爵 近衛 文麿 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也



大藏省

大甲 三〇六

大甲第二四六號

一金參萬七千百九拾六圓

調查諸費職業適性其ノ他調查諸費

一金五千七百拾貳圓

國家總動員諸費國民登錄諸費

一金拾五萬千貳百六拾七圓

勞務動員諸費

一金四萬四千九百五拾七圓

勞働手帳制度實施費

一金壹萬八千七百九拾貳圓

轉廢業對策施設諸費
職業轉換指導施設諸費

勞務動員ノ現状ニ鑑ミ新ニ年齡二十一年以上四十年未滿ノ男子及

十六年以上二十五年未滿ノ女子ヲ指定登錄スルニ伴ヒ要スル經費

支辨ノ爲

右厚生大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ

付前記金額昭和十六年度厚生省所管歳出節約額中ヨリ復活方取計度茲
ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月十三日

大藏大臣 小倉 正

内閣總理大臣公爵 近衛 文麿 殿



追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

大藏省

大甲第三一四號

案起

昭和十六年十月二十七日

閣議決定

昭和十七年十月十八日

施行

昭和十六年十月十八日

勅令

內閣總理大臣



內閣書記官長



內閣書記官



外務大臣

長

海軍大臣

五

商工大臣

五

厚生大臣

年

內務大臣



司法大臣

五

遞信大臣

五

鐵道大臣



大藏大臣

興

文部大臣



鐵道大臣

五

陸軍大臣



農林大臣

五

拓務大臣

五

一金七千參百五拾八圓

賣(厚生省所管)

古券出納... 不長日賣

全七十協和事業費

右歲出節約額復活ノ件ハ不得已費途ト被認ニ付請議ノ通閣議決定相成然ルベシ

指令案

厚生省所管協和事業費歲出節約額復活ノ件請議ノ通

甲二五四

一金七千參百五拾八圓

協和事業費

最近ニ於ケル朝鮮人勞働者ノ内地移入ノ狀況ニ鑑ミ協和事業ヲ擴充強化スルニ要スル經費支辨ノ爲

右厚生大臣ヨリ別紙ノ通り歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十六年度厚生省所管歳出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月二十七日

大藏大臣 賀屋 興 宣



内閣總理大臣 東條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度

大甲第三六二號
外三件

案起
昭和十六年十月三十日

閣議決定
昭和十六年十月三十日施行

昭十六年十月三十日
指令

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣

高

海軍大臣

五

商工大臣

五

厚生大臣

一

內務大臣

田

司法大臣

不

遞信大臣

五

榮

錦

大藏大臣

興

文部大臣

田

鐵道大臣

五

陸軍大臣

田

農林大臣

武

拓務大臣

武

金九萬六千六百參拾圓

(大藏省所管)

稅關俸給及事務費

一 金壹萬八千參百貳拾貳圓 (大藏省所管)

臨時外國為替管理費

一 金四千九拾七圓 (文部省所管)

文部本省工藝技術講習費

一 金參千四百八拾八圓 (厚生省所管)

衛生事業諸費醫藥品其他臨時

對策費

右歲出節約額復活ノ件ハ孰レモ不得已
費途卜被認ニ付請議ノ通閣議決定

相成然ルベシ

例

文指

令

案

内

閣

一金九萬六千六百參拾圓

稅關俸給及事務費

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律ニ基ク統制強化ノ爲稅關ニ於テ對關滿支及泰佛印輸出入貨物ノ檢查及取締施行等ニ要スル經費支辨ノ爲

一金壹萬八千參百貳拾貳圓

臨時外國爲替管理費

昭和十六年七月大藏省令第四十六號外國人關係取引取締規則ノ制定公布ニ伴ヒ之カ運用ニ關シ要スル經費支辨ノ爲

右歲出節約額復活ノ儀不得已モノト存候ニ付前記金額昭和十六年度大藏省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度
茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀屋興

宣



大藏省

内閣總理大臣 東條英機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

大甲三三三

一金四千九拾七圓

文部本省 工藝技術講習費

工藝技術講習所ニ於ケル事業進捗ニ伴ヒ要スル經費支辨ノ爲
右文部大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ
付前記金額昭和十六年度文部省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度
茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀屋興宣



内閣總理大臣 東條英機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候

大甲三三三

大藏省

一金參千四百八拾八圓

衛生事業諸費醫藥品其他臨時對策費

醫藥品ノ生産確保ニ關スル事務ノ増加ニ伴ヒ要スル經費支辨ノ爲
右厚生大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ
付前記金額昭和十六年度厚生省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲
ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀屋 興 宣



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度



大甲第三五九號
外二

案起
昭和十七年十月一日

閣議決定
昭和十七年十月三十一日
施行
昭和十七年十月三十一日

裁可昭和
年月日
指合

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣

海軍大臣

商工大臣

厚生大臣

內務大臣

司法大臣

遞信大臣

陸軍大臣

大藏大臣

文部大臣

鐵道大臣

陸軍大臣

農林大臣

拓務大臣

一金四拾貳萬七千七拾八圓

(遞信省所管)

通信業務費俸給業務費

右遞信省所管通信事業特別會計

歲出節約額復活ノ件

一金六拾參萬七千貳百八拾參圓 (拓務省所管)

補助及獎勵費土木費補助

一金貳萬圓 (同上)

營繕費航空路施設費

一金壹萬八千圓 (同上)

土木費沼水事業費

一金八拾參萬千四百四拾五圓 (同上)

鐵道建設及改良費改良費

一金貳千百拾七圓

(同上)

北鮮開拓事業費拓殖鐵道敷設費

一金百五拾萬圓

(同上)

土木費道路修築改良費

一金貳千四百拾六圓

(同上)

時局對策施設諸費
職業能力者登錄諸費

一金貳萬貳千百四拾參圓

(同上)

時局對策施設諸費
物資需給調整諸費

一金九千貳拾九圓

(同上)

時局對策施設諸費
頒格等統制諸費

右拓務省所管朝鮮總督府特別會計歲出節約復活ノ件

一金拾萬圓

(同上)

樺太拓殖事業費道路新設及改良費

右拓務省所管樺太廳特別會計歲出節約額復活ノ件

右ハ孰_{レモ}不得已費途ト被認ニ付請議
通閣議決定相成然ルベシ

指令案

遞信省所管通信業務費俸給業務費通信事業特別會計歲出節約額復活，件請議，通

拓務省所管補助及獎勵費土木費補助外八件朝鮮總督府特別會計歲出節約額復活，件請議，通

拓務省所管樺太拓殖事業費道路新設及改良費樺太廳特別會計歲出節約額復活，件請議，通

大甲三五九

一金四拾貳萬七千七拾八圓

通信業務費俸給業務費

臨時郵便取締令ノ制定施行ニ要スル經費支辨ノ爲

右遞信大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付
前記金額昭和十六年度遞信省所管通信事業特別會計歲出節約額中ヨリ復
活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀 屋 興 宣



內閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候

大甲三五九

大甲三六〇

一金六拾參萬七千貳百八拾參圓

補助及獎勵費 土木費補助

一金貳萬圓

營繕費 航空路施設費

一金壹萬八千圓

土木費 治水事業費

一金八拾參萬千四百四拾五圓

鐵道建設及改良費 改良費

一金貳千百拾七圓

北鮮開拓事業費 拓殖鐵道敷設費

計百五拾萬八千八百四拾五圓

昭和十六年六月下旬乃至七月上旬ニ亘ル豪雨ノ爲損害ヲ蒙リタル
鐵道線路、河川、飛行場其ノ他ノ災害應急及復舊工事竝ニ道ニ於
テ施行スル道路、河川等ノ災害應急及復舊工事ノ狀況ニ鑑ミ適切
ナル施設ヲ講スルニ要スル經費支辨ノ爲

一金百五拾萬圓

土木費道路修築改良費

時局ノ推移ニ鑑ミ急速ニ道路ヲ改修スルニ要スル經費支辨ノ爲

一金貳千四百拾六圓

時局對策施設諸費
職業能力者登録諸費

最近ニ於ケル勞務需給ノ現情ニ鑑ミ青壯年國民登録ニ關シ之カ範
圍ヲ擴張スルニ伴ヒ要スル經費支辨ノ爲

一金貳萬貳千四百拾參圓

時局對策施設諸費
物資需給調整諸費

木材統制令ノ施行竝ニ燈油、輕油等ノ消費規制ヲ實施スルニ要ス
ル經費支辨ノ爲

一金九千貳拾九圓

時局對策施設諸費
價格等統制諸費

臨時農地價格統制令及臨時農地等管理令ノ施行ニ伴ヒ要スル經費

支辨ノ爲

右拓務大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ要求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十六年度拓務省所管朝鮮總督府特別會計歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀 屋 興

官



內閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

大甲三六一

一金拾萬圓

樺太拓殖事業費道路新設及改良費

道路改良ニ要スル經費支辨ノ爲

右拓務大臣ヨリ別紙ノ通り歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候
ニ付前記金額昭和十六年度拓務省所管樺太廳特別會計歳出節約額中ヨリ復活方取計度

茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年 十月 三十日

大藏大臣 賀屋 興 宣

内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度



大藏省

大甲三六一

大甲第三六五號

案起

昭和十六年十月五日

閣議決定

昭和十六年十月三日施行

昭和十六年十月三日

指令

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣

高

海軍大臣

五

商工大臣

五

厚生大臣

五

內務大臣

五

司法大臣

五

遞信大臣

五

鈴木國務大臣

五

大藏大臣

興

文部大臣

五

鐵道大臣

五

陸軍大臣

五

農林大臣

五

拓務大臣

五

一金參拾六萬參百九拾壹圓

(拓務有所管)

補助及獎勵費勸業補助

一金壹萬五千九百貳拾圓

(同上)

在外朝鮮人施設費

右朝鮮總督府特別會計歲出節約額復活、件、不得已費途、ト被認、ニ付請議、通閣議決定相成然ルベシ

指令案

拓務省所管補助及獎勵費勸業補助外一件朝鮮總督府特別會計歲出節約額復活、件請議、通

甲三〇二

一金參拾六萬參百九拾壹圓

補助及獎勵費勸業補助

輸出向水產物ノ増産處理竝木炭ノ臨時増産ニ關シ適切ナル措置ヲ講スルニ要スル經費支辨ノ爲

一金壹萬五千九百貳拾圓

在外朝鮮人施設費

在滿保留國民學校職員ニ對シ臨時手當ヲ支給スルニ要スル經費支辨ノ爲

右拓務大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十六年度拓務省所管朝鮮總督府特別會計歲出節約額中ヨリ復活方取計度

茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀屋興宣

内閣總理大臣 東條英機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也



大藏省



大甲第三六六號

案起 昭和十六年十月三十一日

閣議決定 昭和十七年十月三十一日施行

昭和十六年十月三十一日

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣

海軍大臣

商工大臣

厚生大臣

內務大臣

司法大臣

遞信大臣

鈴木國務大臣

大藏大臣

文部大臣

鐵道大臣

陸軍大臣

農林大臣

拓務大臣

一金四千參百四拾四圓

(拓務省所管)

一金壹萬九千五百圓

(同)

一金四千六 地方廳事務費

一金壹萬九百壹圓 (同上)

事業費 南支那及南洋施設費

一金參千百四拾四圓 (同上)

臨時經濟統制諸費 國民登錄諸費

右臺灣總督府特別會計歲出節約額復活ノ件ハ不得已費途ト被認ニ付請議ノ通

閣議決定相成然ルヘシ

指令案

拓務省所管地方廳事務費外二件臺

灣總督府特別會計歲出節約額復活ノ
件請議ノ通

內閣

甲第三〇三號

一金四千參百四拾四圓 地方廳 事務 費

時局ニ鑑ミ臨時警察官充實ニ要スル經費支辨ノ爲

一金壹萬九百壹圓 事業費 南支那及南洋施設費

時局ニ鑑ミ臺灣南方協會ニ對シ熱帶醫學研究班泰國派遣費補助ニ
要スル經費支辨ノ爲

一金參千百四拾四圓 臨時經濟統制諸費 國民登錄諸費

國民職業能力申告令ニ基キ國民登錄ヲ實施中ノ處要登錄者ノ範圍
ヲ擴大スル事トナリタルヲ以テ之カ施行ニ要スル經費支辨ノ爲

右拓務大臣ヨリ別紙ノ通り歲出節約額復活ノ請求有之候處不得已儀ト
存候ニ付前記金額昭和十六年度拓務省所管臺灣總督府特別會計歲出節

約額中ヨリ復活方取計度

茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀屋 興



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追而別紙ハ閣議決定ノ上御返戻相成度

大藏省



大甲第三五四號

外四件

起案 昭和十六年十月三十一日

閣議決定 昭和十七年十月三十一日施行

昭和十六年十月三十一日 指合

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣

海軍大臣

商工大臣

厚生大臣

內務大臣

司法大臣

遞信大臣

大藏大臣

文部大臣

鐵道大臣

陸軍大臣

農林大臣

拓務大臣

一金六千五百圓

一金九百圓

(學生省所管)



興

香

山

五

五

五

香

一

補助費農村墾保施設費補助

一金壹萬參千五百圓

(同)

補助費季節保育所費補助

一金參拾參萬八千百圓

(陸軍省所管)

軍事費廳費及修繕費

一金壹萬千九百圓

(同)

營繕費 新營費

一金四萬八千九拾七圓

(同)

軍事費 廳費及修繕費

一金貳萬貳千八拾圓

(同)

營繕費 新營費

一金拾萬四千八百貳拾參圓

(同)

同

修繕費

一金貳萬六千五百圓

(文部者所管)

氣象臺事務費

一金四拾萬圓

(商工省所管)

鑛業獎勵費補助費

一金八千八百八拾參圓

(同)

商工本省俸給

一金千百五拾貳圓

(同)

指導所検査所及調査所費俸給

一金千百五拾貳圓

(同)

貿易振興費俸給

一金壹萬六千七百九圓

(同)

臨時物資調救正費俸給事務費

右歲出節約額復活ノ件ハ孰シモ不得

已費途下被認ニ付請議ノ通閣議決

定相成然ルハシ

指令案

例文

官
第
二
六
九
號

一金六千五百圓

補助費農村隣保施設費補助

一金壹萬參千五百圓

補助費季節保育所費補助

今夏ノ水害罹災者ニ對スル子女保育施設ノ整備ニ要スル經

補助ノ爲

右厚生大臣ヨリ別紙ノ通り歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十六年度厚生省所管歳出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年 十月三十日

大藏大臣 賀屋 興

内閣總理大臣 東條 英機 殿



追テ別紙ハ閣議濟ノ上ハ御返戻相成度

大藏省

大甲 三五四

官
秘
甲
第
二
七
一
號

一金參拾參萬八千百圓

軍事費 廳費及修繕費

一金壹萬千九百圓

營繕費 新 營 費

昭和十五年十二月ヨリ同十六年三月ニ亘ル内地及朝鮮地方ニ於ケル
凍雪ノ爲陸軍建造物ニ損害ヲ蒙リタルニ依リ之ヲ復舊スルニ要スル
經費支辨ノ爲

一金四萬八千九拾七圓

軍事費 廳費及修繕費

一金貳萬貳千八拾圓

營繕費 新 營 費

一金拾萬四千八百貳拾參圓

同 修 繕 費

昭和十六年三月ヨリ同年六月ニ亘ル内地及朝鮮地方ニ於ケル暴風雨
ノ爲陸軍建造物ニ損害ヲ蒙リタルニ依リ之ヲ復舊スルニ要スル經費

支辨ノ爲

右陸軍大臣ヨリ別紙ノ通歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ
付前記金額昭和十六年度陸軍省所管歳出節約額中ヨリ復活方取計度茲
ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀 屋 興



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候

秘
甲
第
二
七
二
號

一金貳萬六千五百圓

氣象臺事務費

日本「チモール」間定航空路ノ開設ニ伴ヒ「チモール」ニ於ケル
氣象調査ニ要スル經費支辨ノ爲

右文部大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ
付前記金額昭和十六年度文部省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲
ニ之ヲ提出ス

昭和十六年 十月 三十日

大藏大臣 賀 屋 興

內閣總理大臣 東 條 英 機 殿



追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候

大甲三五六

大藏省

大甲三五七

一金四拾萬圓

鑛業獎勵費補助費

金屬鑛山機械化獎勵金ノ交付指令ヲ爲スニ件ヒ要スル經費

右商工大臣ヨリ別紙ノ通り歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候
ニ付前記金額昭和十六年度商工省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度
茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀屋 興 官

內閣總理大臣 東 條 英 機 殿



追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

大甲三五七

大藏省

一金八千百八拾參圓

商工本省俸給

一金千百五拾貳圓

指導所検査所及調査所費俸給

一金千百五拾貳圓

貿易振興費俸給

一金壹萬六千七百九圓

臨時物資調整費俸給事務費

纖維製品ノ需給調整ニ要スル經費支辨ノ爲

右商工大臣ヨリ別紙ノ通り歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十六年度商工省所管歳出節約額中ヨリ復活方取計度

茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十月三十日

大藏大臣 賀屋興宣

内閣總理大臣 東條英機 殿

追而別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也



大藏省

三〇

大甲第三六八號
三十九日
合久

案起
昭和十六年十月四日

閣議決定
昭和十六年十一月四日
施行

昭和三十七年十一月四日
指令

內閣總理大臣



內閣書記官長



內閣書記官



外務大臣

有

海軍大臣

五

商工大臣

五

厚生大臣

五

內務大臣



司法大臣

五

遞信大臣

五

鑛國務



大藏大臣

興

文部大臣



鐵道大臣

五

陸軍大臣



農林大臣

五

拓務大臣

五

一、金壹億八千貳百六拾五萬九千八百五拾七圓(陸)

金貳百萬元 (軍省所管)

國防充備費兵器其他整備費

金四千萬圓

(海軍省所管)

艦艇製造費 艦艇製造費

金四千參百萬圓

(同上)

水陸整備費工作廳設備費

金五百萬圓

(同上)

水陸整備費防備部隊設備

費

金貳百萬元

(同上)

水陸整備費教育機關設備費

一金六百萬圓

(同上)

航空隊設備費航空隊設備費

一金四百萬圓

(同上)

軍需品整備費軍需品整備費

右歲出節約額復活、件ハ孰レモ不得已費途然被認三付請議、通閣議決

定相成然死感之甘請義、通問義求
右邊出指

例 文 整 插 類

風 麗 品 整 插 類 風 麗 品

金 日 日 地 圖

(四) (十)

類

芳 似 似 似 插 類 芳 似 似 似

金 火 日 地 圖

(四) (十)

類

火 似 似 似 似 插 類 火 似 似 似 似

(白 井 納)

一金壹億八千貳百六拾五萬九千八百五拾七圓

國防充備費 兵器其他整備費

時局ニ関シ作戰資材ノ増加整備ヲ要スルニ依リ之カ經費支辨ノ為

右陸軍大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ付前記金額昭和十六年度陸軍省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

大甲 三六八

大 裁 省

昭和十六年十一月三日

大藏大臣 賀屋興宣



内閣總理大臣 東條英機 殿

追行別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻
相成度候

官報 甲第三一四號

一金四千萬圓

艦艇製造費 艦艇製造費

一金四千參百萬圓

水陸整備費 工作廳設備費

一金五百萬圓

水陸整備費 防備部隊設備費

一金貳百萬圓

水陸整備費 教育機關設備費

一金六百萬圓

航空隊設備費 航空隊設備費

一金四百萬圓

軍需品整備費 軍需品整備費

最近ニ於ケル國際情勢ノ推移ニ鑑ミ海軍軍備ノ整備促進ヲ圖ル爲
右海軍大臣ヨリ別紙ノ通歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候ニ
付前記金額昭和十六年度海軍省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度
茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

大藏省

大甲 三六九

昭和十六年十一月三日

大藏大臣 賀屋 興

内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也



大藏省

三

大甲第三九〇號

外三件

起

昭和十五年十一月二十七日

閣議決定

昭和十五年十一月二十八日

裁可昭和

年月日

昭和十五年十一月二十八日

指合

內閣總理大臣



內閣書記官長

並

內閣書記官



外務大臣

有

海軍大臣

並

商工大臣

並

厚生大臣

為

內務大臣



司法大臣

並

遞信大臣

並

陸軍大臣



大藏大臣

興

文部大臣



鐵道大臣

並

陸軍大臣



農林大臣

並

拓務大臣

有

一、金壹萬九千圓

(內務省所管)

治水事業費 砂防費

一金六萬八千圓

(同)

道路改良費 道路改修助成費

一金貳萬七千圓

(同)

道路改良費 國道改良費

一金五萬四千圓

(同)

道路改良費 國道改良繼續費

一金貳萬壹千圓

(同)

中小河川改良助成費

一金五萬參千九百八拾圓

(同)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金 十 萬 八 千 四 百 圓 (同 款 費)

一 金六萬圓 港灣改良費 事業費

一 金六萬圓 (同)

一 金八萬圓 道路改良費 道路改修助成費

一 金拾八萬圓 (同)

一 金六萬圓 道路改良費 國道改良費

一 金六萬七千圓 (同)

一 金六萬圓 中小河川改良助成費

一 金貳萬圓 (同)

一 金六萬圓 北海道拓殖費 幹線道路改良費

一 金貳萬五千圓 (同)

內務省 北海道拓殖費 河川費

一金拾萬四千圓 (同)

災害費 北海道拓殖費 治水費

一金貳拾八萬參千圓 (同)

災害費 災害土木費補助

一金貳拾貳萬圓 (同)

北海道拓殖費 土地改良費

一金壹千五百六拾四圓 (同)

內務本省 機密費

一金四千百貳圓 (同)

一 金四十 地方廳 機密費

一 金千五百圓 (天藏省所管)

一 金百 貴族院 事務費

一 金壹萬參百圓 (同)

一 金百餘 衆議院 事務費

右歲出節約額復活ノ件ハ孰レモ不得

已費途ト被認ニ付請議ノ通閣議決

定相成然ルベシ

一 金餘萬 指令案

内務省所管治水事業費砂防費外六件

歲出節約額復活，件請議，通

內務省所管補助費港灣修築費補

助外十一件 以下同文

內務省所管內務本省機密費外一件

以下同文

大藏省所管貴族院事務費外一件 以

下同文

一金壹萬九千圓

治水事業費 砂防費

一金六萬八千圓

道路改良費 道路改修助成費

一金貳萬七千圓

同 國道改良費

一金五萬四千圓

同 國道改良繼續費

一金貳萬壹千圓

中小河川改良助成費

一金五萬參千九百八拾圓

臨海地帶造成費

一金拾七萬六千圓

災害費 災害土木費補助

昭和十六年七月ノ豪雨出水ニ因ル茨城、千葉及埼玉三縣下ノ罹災者ノ窮乏緩和ヲ圖ル爲必要ナル土木事業ノ起興ヲ爲ス等ニ要スル經費支辨ノ爲

右内務大臣ヨリ別紙ノ通り歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候
ニ付前記金額昭和十六年度内務省所管歳出節約額中ヨリ復活方取計度
茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十一月二十七日

大藏大臣 賀屋 興



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

一金六萬八千四百圓	補助費	港灣修築費補助
一金七萬五千圓	治水事業費	河川費
一金八萬壹千圓	治水事業費	砂防費
一金六萬參千圓	港灣改良費	事業費
一金六萬圓	道路改良費	道路改修助成費
一金拾八萬圓	道路改良費	國道改良費
一金六萬七千圓	中小河川改良助成費	
一金貳萬圓	北海道拓殖費	幹線道路改良費
一金貳萬五千圓	北海道拓殖費	河川費
一金拾萬四千圓	北海道拓殖費	治水費
一金貳拾八萬參千圓	災害費	災害土木費補助

一金貳拾貳萬圓

北海道拓殖費 土地改良費

北海道並ニ岩手縣外三縣ニ於ケル冷害罹災者ノ窮乏緩和ヲ圖ル爲
必要ナル土木事業ノ起興ヲ爲ス等ニ要スル經費支辨ノ爲

右内務大臣ヨリ別紙ノ通り歳出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候
ニ付前記金額昭和十六年度内務省所管歳出節約額中ヨリ復活方取計度
茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十一月二十七日

大藏大臣 賀屋 興



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也

一金壹千五百六拾四圓
一金四千百貳圓

內務本省、機密費
地方廳、機密費

最近ニ於ケル警察事情ニ鑑ミ銃後治安維持ノ完璧ヲ期スルニ要ス
ル經費支辨ノ爲

右內務大臣ヨリ別紙ノ通り歲出節約額復活ノ請求有之不得已儀ト存候
ニ付前記金額昭和十六年度內務省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度
茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十一月二十七日

大藏大臣 賀屋 興

內閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也



大甲 三九二

大藏省

大甲三九三

一金千五百圓

一金壹萬參百圓

貴族院事務費

衆議院事務費

第七十七回帝國議會開會ニ件フ經費支辨ノ爲

右歲出節約額復活ノ儀不得已モノト存候ニ付前記金額昭和十六年度大藏省所管歲出節約額中ヨリ復活方取計度茲ニ之ヲ閣議ニ提出ス

昭和十六年十一月二十七日

大藏大臣 賀屋 興

內閣總理大臣 東 條 英 機 殿

追テ別紙ハ閣議決定濟ノ上御返戻相成度候也



大甲三九三

大藏省